

アジア・アパレルものづくりネットワーク

プラットフォーム開設へ

7月に記念シンポジウム

アジア・アパレルものづくりネットワーク(AAP)は20日、都内で総会を開き、新年度の事業として、7月に「AAP設立7周年記念シンポジウム」、来年2月にAAP展示会を開催することを決めた。アジア生産の情報交換を主とした取り組みから、収益を伴う新たなビジネスモデル構築を目指し、来年3月までのAAPプラットフォーム開設などデジタル化にも注力する。



左から和田、常川、岩井、宮崎氏

の情報交換会を行ってきた。岩井一男ロックス社生産比率の高かった会員

企業が、東南アジア生産主体になるケースも多くなると語り、東南アジアシフトが進んだことを示す。毎年、東南アジアを視察

している。1社では難しい現地工場見学も、AAPとしてなら可能。50社以上視察した(常川雅通サントイ社長)と、AAPの活動は活発。現実のビジネスはアパレル不況の影響を受けやすい。オーダー・オペ・メリット・プランニング(O.M.P.)の宮崎守社長は「アパレルから低価格、高品質、短納期が求められる」と語る。大手アパレルの構造改善などで縫製工場への発注量は減少傾向にある。商品価格を上げるアパレルもあるが、低価格志向も根強い。縫製業界の未来は不透明さを増す。

このため、AAPも情報交換中心からステップアップをし、未来に向けた新たなビジネスモデルの構築(宮崎社長)を目指す。例年の例会や進出好適地視察ミッション

桑村繊維株式会社

本社 兵庫県多可郡多可町中区曾我井315
Tel.(0795)32-1180
Fax.(0795)32-0065
<http://www.kuwamura.co.jp/>
織物創造発信基地

(10月フィリピン予定)のほかに、7月12日には都内で7周年記念シンポジウム(定員150人、参加費無料)を開催。基調講演では日本貿易振興機構(ジェトロ)が米ト

来年2月26日〜3月1日にはAAP展示会「シンヨップ・AAP・CITは「AAPはシーズンでY」(仮称)を計画。AAPオリジナルブランドの商品と会員企業(15〜20社)のオリジナル商品を半々の構成で出品。ファクトリーブランドを集めたセレクトショップのイメージで訴求する。約1も紹介したい」と語る。